

家財の保険

家財の火災保険、お忘れではありませんか？

ふだん何気なく購入している家財。見直してみると大きな財産であることに気がつきます。たとえば、4人家族（ご世帯主の年令40才）の場合、標準的な家財の再調達価額は、**1,400万円にもなります。**建物の火災保険には入っていても、家財の火災保険はまだ…という方は、ぜひ、この機会にご加入をご検討ください。



リスクに対応した契約プランをお選びください。

○：補償されます（保険金をお支払いする事故） ×：補償されません

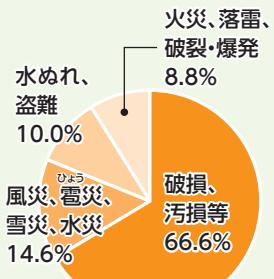
すまいの主なリスク

契約プラン

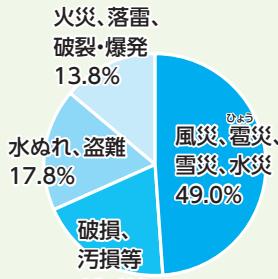
オススメ
フル
サポート
プランセレクト
(水災なし)
プラン^(注)マンション等の
共同住宅専用

参考データ

お支払件数の割合



お支払金額の割合



※「GK すまいの保険」の2017年～2019年度当社支払実績（家財）に基づいた数値です。

安心の
サービス

GK すまいの保険

暮らしのQQ隊
(水まわりQQサービス・
カギあけQQサービス)セット
されますGK すまいの保険
グランドグランド
セレクトサービスセット
されます

※上表に記載された契約プラン以外に、「セレクト（破損汚損なし）プラン」（①～⑤のリスクが補償されます。）、「セレクト（水災、破損汚損なし）プラン」^(注)（①～④のリスクが補償されます。）および「エコノミープラン」（①～②のリスクが補償されます。）があります。これらのプランには暮らしのQQ隊はセットされません。

GK すまいの保険 グランドの場合、「フルサポートプラン」および「セレクト（水災なし）プラン」^(注)のみご選択いただけます。

^(注)保険の対象である家財を収容する建物が共同住宅の場合にご選択いただけます。

〈お支払件数No.1の「破損、汚損等」の例〉こんな事故による損害も補償されます！



誤ってコーヒーをこぼして
パソコンをこわしてしまった。



ロボット掃除機を誤って踏んで
こわしてしまった。



子どもが遊んでいて
カーテンを破ってしまった。



自動車が飛び込んで、
家具や食器がこわれてしまった。

1 家財の損害を補償するのは、家財の火災保険です。 現在加入中の建物の火災保険に中途セットできます。

建物の火災保険では、家具や家電製品、衣類等の家財の損害は補償されません。

建物と家財の両方を保険の対象とした場合



建物のみを保険の対象とした場合



2 徐々に増えている家財は、意外と大きな財産です。 再調達価額に相当する額でのご契約をおすすめします。

家財の保険金額は再調達価額以下、かつ、50万円以上1万円単位でお決めください。

再調達価額とは

損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再築または再取得するのに必要な金額をいいます。

昔購入したスーツやバッグ等について、同じもの(または同等のもの)を新品で購入することを想像してみてください。衣類や身の回り品だけでも思った以上に高額になるものです。

標準世帯における家財の評価額(再調達価額)の目安^(注)

2020年9月現在

家族構成	夫婦のみ		夫婦+子ども(18才未満)1人	夫婦+子ども(18才未満)2人
	世帯主の年齢	夫婦	夫婦+子ども(18才未満)1人	夫婦+子ども(18才未満)2人
27才以下	550万円		640万円	730万円
28才~32才	710万円		800万円	890万円
33才~37才	990万円		1,080万円	1,170万円
38才~42才	1,220万円		1,310万円	1,400万円
43才~47才	1,400万円		1,490万円	1,580万円
48才以上	1,480万円		1,610万円(18才以上の方1人の場合)	1,700万円(18才以上の方1人と18才未満の方1人の場合)

(注)●上表は標準例ですので、実態に即し適宜調整をして、ご契約ください。

●上表にない家族構成の場合は、上表「夫婦のみ」の額に世帯主ご夫婦と同居の親族の方の家財評価額(再調達価額)(18才以上の方1名あたり130万円、18才未満の方1名あたり90万円)を加算します。

●独身標準世帯の評価額(再調達価額)は、男性:260万円、女性:410万円程度が目安となります。

●1個または1組の再調達価額が30万円を超える貴金属・宝石・美術品等は含まれておりません。

3 万が一に備え、家財にも地震保険をセットしましょう。

地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする損害は火災保険では補償されません。地震保険の保険金額は、最大で火災保険の保険金額の50%までしか設定できません。

地震保険金は使途を問わず利用できます。そのため、家財の地震保険金を建物の修繕費用や住宅ローンの返済に充てるこも可能です。

例 建物(再調達価額2,000万円)、家財(再調達価額1,200万円)を保険の対象とした火災保険、地震保険を契約する場合

火災保険も地震保険も建物の保険だけよいです。

保険金額		
	火災保険	地震保険
建物	2,000万円	1,000万円
家財	契約なし	契約なし

地震発生

地震保険で支払われた保険金は…
1,000万円

家財の地震保険も契約しておけばよかった…。

家財も保険金額を再調達価額に設定して契約します。

保険金額		
	火災保険	地震保険
建物	2,000万円	1,000万円
家財	1200万円	600万円

地震保険で支払われた保険金は…
建物、家財ともに全損…
1,600万円

家財も保険金額を再調達価額に設定して契約しておいてよかった！

※このチラシはGK すまいの保険(すまいの火災保険)、地震保険の特徴を説明したものです。詳細は商品パンフレットまたは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」等をご覧ください。

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

● ご相談・お申込先

<https://www.kazai-hoken.jp>
取扱代理店 株式会社保険企画